

平成28年6月21日

保護者様

横浜市立山内小学校
校長 基野 啓司
児童いじめ防止委員会

第1回山内小児童いじめ防止委員会の報告

日頃より本校の教育活動に多大なるご支援ご協力をいただきありがとうございます。

6月1日(水)に、3年生以上のクラス代表、青葉警察署、学校カウンセラー、PTA役員、教職員が本校体育館に集まり、「第1回山内小児童いじめ防止委員会」を行いました。

第1回の話し合いについてご報告させていただきます。

【テーマ】 だれもが安心して生活できる いじめがない山内小をつくろう

【参加者】 3年生以上クラス代表児童2名
青葉警察署 学校カウンセラー PTA役員 教職員

【内容】 「いじめって何？」
「どうしたらいじめのない山内小学校をつくれる？」



【報告】

はじめに、6年代表児童から山内小児童いじめ防止委員会の発足理由や、活動にかける思いなどを全体の場で発表しました。いじめは許されないものであり、今後の取り組みの中でなくしていこうとする意志を参加者全員で確認しました。

今、いじめは全国的に大きな問題となっています。テレビや新聞などで取り上げられることも数多く、そのつど心が痛くなります。いじめは、絶対に許されるものではありません。いじめはなくさなければいけません。

山内小学校では、あったかハートの取り組みを通して、いじめをなくすことに力を入れてきました。今までのこうした取り組みは、先生方のお力に頼ることが多かったように思います。しかし、これからはわたしたち全校児童も様々な知恵を出し合って、このいじめ問題に取り組んでいくことが必要ではないかと考えています。そこで、今年度から「山内小児童いじめ防止委員会」を立ち上げ、話し合いや情報共有の場を設けることにしました。全校児童が笑顔で学校生活を過ごす姿を目指し、今後話し合いを重ねていきます。

山内小児童いじめ防止委員会 6年代表

これを受けて、グループごとの情報交換をしました。3年生以上の代表児童は、6つのグループに分かれて、いじめのないクラスをつくるにはどうしたらよいか、意見を交わしました。青葉警察署、学校カウンセラー、PTA役員の皆様、そして教職員もそれぞれのグループに加わり、率直な意見交換をしました。

各グループの話し合いから

- ・クラスの雰囲気よくなるといじめがなくなるのではないかな。いじめのもとをつくらないように、みんなで声をかけ合うことが大切。
- ・いじめを見たら見て見ぬふりをしない。先生に教えるなど、声を出すことが大切。
- ・ひとりぼっちにしないことが大切。遊んでいるように見えても、いやな思いをしているのかもしれない。一緒に遊び、声をかけ合っていきたい。ひとりもさみしさを感じないクラスをつくりたい。
- ・クラスレクや優しい声かけをすることで、いじめのないクラスをつくっていきたい。今後は、各クラスで具体的な取り組みを考えて実践していく。



7月15日には、よこはま子ども会議（小中ブロック）が山内中学校で開かれます。9月2日には、よこはま子ども会議（青葉区）が青葉区役所で開かれます。どちらの会議も、テーマに掲げているのは「いじめのない学校」です。山内小児童いじめ防止委員会で話し合った内容は、小中ブロック、そして青葉区へと発信し、我々の思いをつなげていきます。

【学校長より】

いじめは、自分の問題として受け止めることがとても大切。他人事ではない。いじめ防止委員会のみなさんが中心となって、いじめのない山内小学校をつくっていきましょう。



【参加者の感想】

- ・いじめをなくすための意見を6年生がたくさん出してすごいいいと思いました。わたしも、もっと意見を出したかったです。（児童）
- ・いじめは、はんざいにもなるし、すごくいやな気持ちにもなります。みんなで話し合って、いじめはぜったいにしてはいけないと思いました。（児童）
- ・自分たちのクラスで出た意見と他のクラスの意見がとてもにっていました。みんな考えていることは同じなんだなと思いました。こまっている友達がいたら、「どうしたの？」と声をかけたいです。（児童）
- ・いやだと言いつ返せないのはいじめ。自分の気持ちがいやすい空気をつくるのが大切。自分に自信のある人は気持ちも言える。ほめられると自信がつく。もっとほめて自信のもてる子どもを育てようと思いました。（PTA）
- ・児童のみなさんがたくさん意見を出し合い、しんけんにいじめに対して話し合っている姿に感動しました。（PTA）